**事　　業　　計　　画　　書**

**（様式２）**

**※様式２全体で、６枚以内で記載してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業計画名 |  | | |
| 事業実施期間 | （着手）令和４年　　月　　日　～　（完了）令和５年３月１０日 | | |
| 事業費総額 | 円 | 補助金申請額  （事業費総額の2／3以内） | 円 |

各記載項目について記載してください。記載項目にない事項についても記載したい内容がありましたら記載してください。

|  |
| --- |
| **１．事業に取り組む背景**  ※本件技術・製品・システムの開発を計画するに至った背景・動向について、社会的意義、市場ニーズ、社内での事業位置付け等を記載してください。  ①弊社の概要  ②弊社の強み  ③本件開発製品・技術の社会的ニーズ、社会的意義  ④本件開発製品・技術の市場ニーズ  ⑤本件事業の社内での位置付け（新規事業への進出、本業の市場拡大・開拓等）  ⑥その他 |
| **２．事業の課題及び解決方法**  ※事業実施にあたっての課題を記載し、事業期間中で実施する課題解決の方法・方向性を記載して下さい。 |
| **３．事業の具体的実施内容**  ※事業期間中に行う課題解決のための具体的な取組を記載してください。 |
| **４．事業のスケジュール・予算について**  様式３実施計画書、様式４補助対象経費積算書記載の通り  ※補助対象経費の大半が外注費を占める場合に『７．開発体制および役割分担等』で必要性がわかるよう記載するなど、補助対象経費と実施内容の関連を留意してください。 |
| **５．事業の新規性・優位性**  ①開発技術・製品・システムの既存（類似）技術・製品・システムの現状  既存（類似）技術・製品・システムの有無。ある場合、その主な担い手企業、市場について。  ②本件開発技術・製品の新規性・独自性  インターネット検索等で類似技術・製品・システムが見つかる場合、そうしたものとの差異について。  ③本件開発技術・製品・システムの優位性  ④その他   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 現状 | 本件 | | 新規性 |  |  | | 独自性 |  |  | | 優位性 |  |  | | その他 |  |  | |
| **６．事業期間終了後の製品化・事業化に向けたビジネスプラン**  ①製品化・事業化の時期はいつ頃を目指しているか。価格の想定も記載してください。  ②販売する市場、ターゲット先はどこを想定しているか。  ③販売開始後、３年間のビジネスプラン（生産量・売上高等を表にしてください。）  **③販売開始後、３年間のビジネスプラン**   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 1年目（2023年度） | 2年目（2024年度） | 3年目（2025年度） | | 売上高 | 万円 | 2,400万円 | 2,880万円 | | 既存先 | 万円 | 1,800万円 | 2,160万円 | | 新規先 | 万円 | 600万円 | 720万円 | | 年増率 | － | 20％ | 20％ | | 根 拠 | 既存先大手卸売業者の売上髙約３％,1,000万円、自衛隊等新規先販売確約先500万円で試算。 | 既存先の前年実績贈と新規先の取引増加を年20％と見て試算。 | 既存先の前年実績贈と新規先の取引増加を年20％と見て試算。 |   ④特許取得等の計画  ⑤他企業への技術移転、派生商品開発等更なる事業展開の計画があれば記載して下さい。  ⑥その他 |
| **７．製品化・事業化実現による効果**  ※本事業の目的である環境（エネルギー）関連産業の活性化、市民生活の向上につながる効果（原則、可能な限り定量化した数値目標）を記載してください。  その他にも事業化によりもたらされる波及効果や創造される市場、社会への影響や効果等もありましたら加えて記載してください。 |
| **８．開発体制および役割分担等**  **①開発体制（外部機関との役割分担）**  ※下表のような形で申請者及び関係する機関の役割や実施する内容を記載して下さい。   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  | 申請者 | 共同実施者 | 外部関連者 | | 実施内容 | （様式3）実施計画書の「実施内容」と同一の内容　　を記載。 | 具体的に実施することを箇条書きで記載。 |  |  | | １．～の企画・設計 | 仕様・図面の作成 | A社（共同開発企業）  ・仕様の作成 |  | | ２．試作機の作成 | 各備品の組立 |  | C社(外部委託先）  ・～部分の作成 | | ３．試作機の稼働実験 | ・試験稼働  ・データ収集 | B大学(共同研究機関)  ・データ分析、モデル作成 | D(協力販売先等)  ・試作品の評価 |   **②社内体制**  　　社内の体制について、記載してください。  **事業の組織体制図（イメージ図）】**  商品企画  品質管理  商品開発  得意先  商談 特産原料・情報 メニュー提示  検査・報告  原料確認  　　　　　　メニュー提案 　メニュー提案・商品開発 工場フロー  生産技術部  業務部    　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　仕込み検査  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　充填物検査提出  商品出荷、原料荷受け　　　製造・検品・箱詰め 製品確認、検査報告 |
| 【専門用語解説】  　専門用語について、適宜解説してください。  　申請書を確認して、当財団から追加で専門用語の解説をお願いする場合があります。 |
| 【事業の主たる実施場所等】  　所在地：  　開発責任者の部署・役職・氏名：  　連絡先：Tel  E-mail |

注意事項

●文字や文章の強調

　　　ポイントとなる文字や強調したい文章には、色を変える、下線を引く、

　　太字にする、フォントを変える等強調してください。

**●写真や図の活用**

申請書の記載について、写真や図グラフを活用して、イメージが掴みやすいよう工夫してください。

●統計データの活用

市場の推移・動向などで、客観的・定量的なデータ等が有れば、そのデータを活用して説明してください。